

## ・ 帯状疱疹とは

子供の頃にかかった水疱瘡のウイルスが神経節の中に潜んでいて、疲れやストレスなどによる体力低下をきっかけに活性化して起こる病気です。

一度、水疱瘡にかかると水痘・帯状疱疹ウイルスに対する抗体が作られ免疫状態となりますが年月が経つと抗体が減っていきます。

この時、疲れなどによる免疫低下でウイルスを抑制する力が弱くなり発症すると考えられています。

## ・ 症状

症状として、初めは神経痛が現れます。皮膚症状が現れるのはその後で患部が赤くなり、やがて水ぶくれになっていきます。それが濁って黄色くなったあと、かさぶたになり治っていきます。

## ・ 人にうつることは？

帯状疱疹が人にうつることはほとんどありません。

ただし、水疱瘡になっていない人が接触すると水疱瘡になってしまうことがあります。

水疱瘡になっていない子供などとの接触は避けたほうがいいでしょう。

## ・ 治療法

市販薬には抗ウイルス剤はありません。

高齢者では治療が遅れると後遺症として神経痛が残ってしまうことがあるため、症状がひどくなる前に皮膚科を受診し、お医者さんの指示に従い治療することをおすすめします。